

正式には紋付羽織袴（もんつきはおりはかま）と呼ばれ、染め抜きの五つ紋がついた黒羽二重の着物と羽織に、仙台平の袴を合わせるのが正しい形です。江戸時代は略礼装でしたが、明治時代に、『五つ紋の黒紋付羽織袴』は正装・礼装として広まりました。また、色紋付と呼ばれ、地色が黒以外の色の紋付羽織袴も存在し、礼装や略礼装などに用いられます。礼装の場合には必ず紋付でなければいけません。ちなみに背紋の一つ紋はご先祖様を表し、胸にある二つの抱き紋は両親を、両袖後ろの紋は兄弟、姉妹、親戚を表しています。袴の結び方は十文字か一文字です。ズボンのように2つに分かれている形の袴を「馬乗袴（うまのりばかま）」と言います。



想ひで惟い（おもいでおもい）

# 紋付袴の楽しみ

～記念日の想いでをデザインする着物レンタル～

## KANEMATA ANNIVERSARY STYLEBOOK

カネマタ衣裳店 スタッフ一同

こんにちは、カネマタ衣裳店と申します。  
この度は誠におめでとうございます。  
この冊子は、記念日の意味合いや所作を知つていただきこと、  
記念日をより一層、有意義に過ごしていただくために生まれました。  
衣裳を貸すだけではなく、  
皆様の記念日の想いでをデザインできたのなら幸いです。  
良き一日となることを願つております。

KANEMATA

— つなぐ想いで —

〒475-0855 愛知県半田市中町1-74  
TEL 0569-21-1085  
AM9:00～PM6:00[定休日:水曜]  
(祝日の場合は営業)



ネットレンタル  
紋付袴



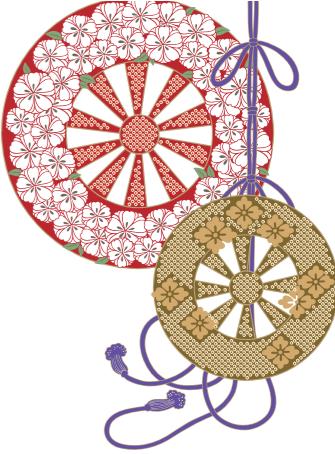
ネットレンタル  
卒業式



現在では五つ紋の黒紋付羽織袴が第一礼装とされ、結婚式・結納・葬儀などの冠婚葬祭や成人式、授賞式などで使用されています。同格の礼装としてはモーニング・燕尾服・黒留袖などになります。父親が結婚式における服装を決める際に気をつけるべきポイントは新郎新婦の服装に合わせることです。新郎新婦が略装であるのに紋付羽織袴を着用したり、逆に新郎新婦が礼装であるのに略装である色紋付袴を着用してはいけません。新婦の衣装が礼装である白無垢や色打掛、振袖などの場合には新郎や互いの父親の服装も紋付羽織袴がふさわしいです。略装である振袖であった場合には新郎や互いの父親も略装である色紋付袴を着用するとよいです。

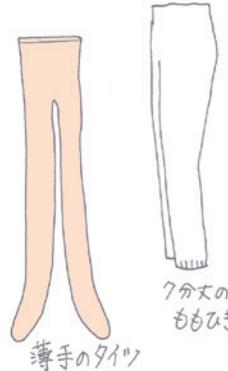


大人として認められる節目の行事としては、奈良時代から「元服」という儀式が行われてきました。その時代によって、年齢は異なりますが多くは12歳～16歳に行われていたようです。この「元服」という行事は新年初めの満月の日に行われてきました。1949年に1月15日の「成人の日」が制定され、古来より行われていた「元服」という儀式の代わりになり、その時に正装として着用されていた、紋付・袴が着られるようになっていきました。



### 防寒 冬場の

男性には履ききれないスカート状の袴の場合、特に下半身が冷えます。基本的に見える事はありませんので、防寒性の高い薄手のタイツやももひきのようなものを履いておくと良いでしょう。ただし、座ることがある場合、足首までの長さがあると後ろから見えてしましますので、7分丈程度の長さにしておくと安心です。



### アレンジ

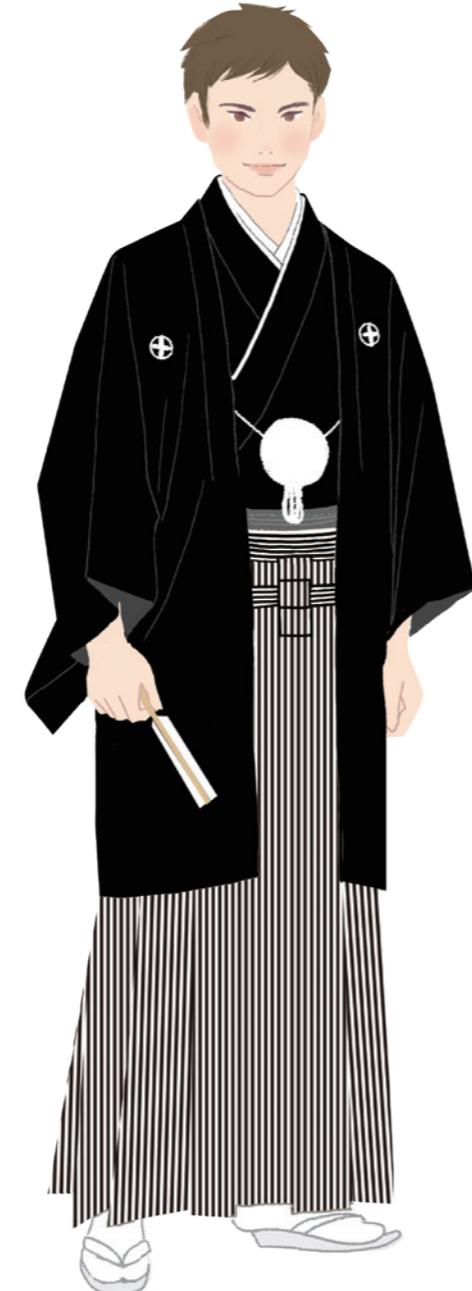
正礼装として形式が決まっている紋付羽織袴ですが、袴の色や模様で個性を出すことも可能です。例えば黒×銀は新郎様に人気があり、高級な雰囲気が漂う黒×白黒ばかり、華やかな印象を与える白×金のストライプなど、度を超えない範囲でおしゃれを楽しむ事もできます。

### ついて 肌着に

汗で襦袢や着物を汚さないように、吸湿性があり、体を広くおおえるものが望ましいです。普通は肌襦袢を着用しますが、深いVネックの袖付きTシャツ(白や灰色、ベージュなどの色のもの)であれば、代用が可能です。衿のつまた丸首のシャツ等は衿元が見えてしまうので避けてください。

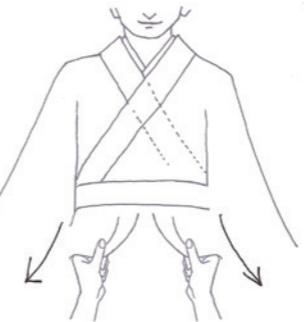


# CEREMONY STYLE & MANNERS



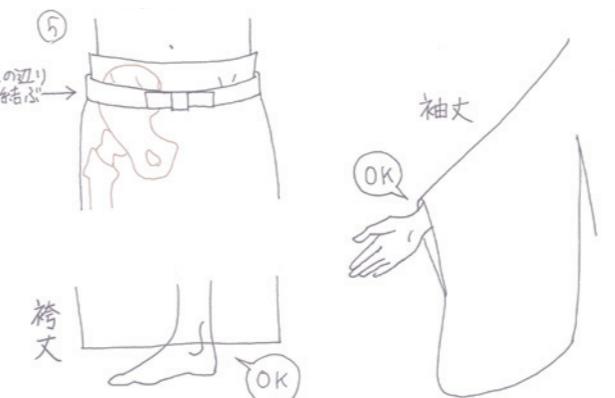
### について 胸(襟) 元

着用時の注意点としては襟元がはだけやすいので、背筋を伸ばし凛とした姿勢でいる事、万が一襟元が開いてきてしまった場合は袴の中から着物を左右下側に引っ張ってもらうと綺麗な状態に戻ります。



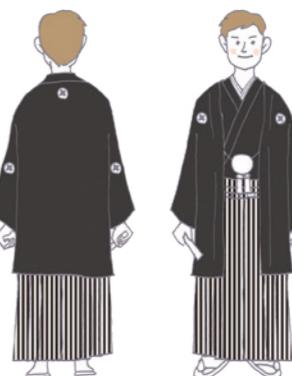
### 着こなし ポイント

着物のサイズで気にするところは袴の長さです。着物を着て、羽織をはおって、腕をまっすぐ下に伸ばして立ってみてください。普通に立った姿勢で、手のひらにかかるようでは長すぎです。そこから腕を身体から少し離してみて、手首が少し見えるくらいの長さが理想です。多少短くても男性の場合はさほど気になりません。また袴は腰骨辺りで紐を結び、くるぶしが見えるか見えないかぐらいの長さにするのが理想です。年配の方でふくよかな体形のかたはしっかりと腰骨にかかるよう普段のベルトの位置を目安に採寸するといいでしょう。当日にどれだけ歩いたり動いたりするかで、サイズも調整して袴の長さを選ぶのが良いです。付属品は白が一般的ですので、格式ある式典などでは白で統一してください。羽織紐など色を変えて楽しむ場合もあります。腕時計などが着物の場合目立ちやすいので、着物にあったものかどうか、確認されるのが着こなすポイントかもしれません。



### 和装の第一礼装は紋付羽織袴

男性の場合、和装の第一礼装は紋付羽織袴です。神前結婚式、成人式以外でも各種式典やパーティー、祭礼行事など着る機会は意外と多くあります。着物は黒色で、袴は黒と白(グレー)色の縦線のある縞模様が一般的です。袴においては最高級の縞織物である「仙台平」や「博多平」という地域での名産が有名ですが、現在では作られているのは数少なくなっています。



### 神前結婚式における紋付袴

神前式におけるご新郎様の第一婚礼衣装です。神前式において、ご新郎様とご新婦様の服装の格は合わせないといけません。紋付袴は格式高い花嫁衣裳と同格の男性衣装となっており、黒羽二重(織物の一種)に紋が5つ付いた紋付袴は新郎様にはつかせません。

